

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月25日		記入者	連絡先	769-8245
部 名	環境事業部	課 名	ごみ減量推進課	課長名	江成 博
事務事業名	生ごみ処理容器助成事業				
予算上の事務事業名	生ごみ処理容器助成事業				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	21210	
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				事業開始年度
施策名	第1施策 リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推				平成5年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市生ごみ処理容器購入助成金交付要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)	
コンポスト化容器や電動式生ごみ処理機を購入し設置した者に対して、その一部を組成することにより、家庭から排出される生ごみの減量化・資源化を推進する。				市民一般	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
◆対象者 市内に在住し、市内販売店で生ごみ処理容器を購入し設置した者					
◆対象容器 堆肥化・減容化する家庭用の2千円を超える生ごみ処理容器					
◆助成額 購入金額の2分の1 (百円未満切り捨て)、3万円を限度					
6 関連・類似事業や他市の状況					
県内19市全てで助成制度を設けている。助成内容は次のとおり。					
◆電動式 助成額： 購入金額の1/2 (18市)、2/3 (1市) 限度額： 4万円 (5市)、3万円 (10市) ほか					
◆コンポスト容器は、定額助成、あっせん販売等を行っている市が多い。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	5,393	8,252	10,797	10,380	10,380
一般財源	5,393	8,252	10,797	10,380	10,380
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	2,403	2,690	2,683	2,683	2,683
事業コスト合計	7,796	10,942	13,480	13,063	13,063
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	生ごみ処理容器助成事業			対象名称 と単位	助成台数 (台)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	7,796	10,942	13,480	13,063	13,063
対象数	259	368	452	490	490
単位あたり経費(円)	30,100	29,734	29,823	26,659	26,659
前年度比		0.99	1.00	0.89	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	生ごみ処理機助成台数（台）	指標式と指標の説明	生ごみ処理機の助成台数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	259.0	368.0	452.0		
目標	490.0	290.0	340.0	490.0	490.0
目標達成度（%）	52.9	126.9	132.9		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	1世帯あたり生ごみ搬出量（kg）	指標式と指標の説明	一般ごみ排出量*生ごみ組成率（35%）/世帯数（4月1日）		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	212.0	200.0	197.0		
目標	212.0	205.0	199.0	193.0	186.0
目標達成度（%）	100.0	102.5	101.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		生ごみ処理容器の設置は家庭から排出される生ごみの減量化・資源化に極めて有用であるため、今後も購入助成制度の拡充に努める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 今後、さらに生ごみ処理容器の購入促進が図られるよう、より効果的な市民への制度周知の方法を検討する。			14 課題として認識されたこと 生ごみ処理容器の購入動機及び設置後の状況等の把握		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			